

2023

令和5年11月2日

第45号

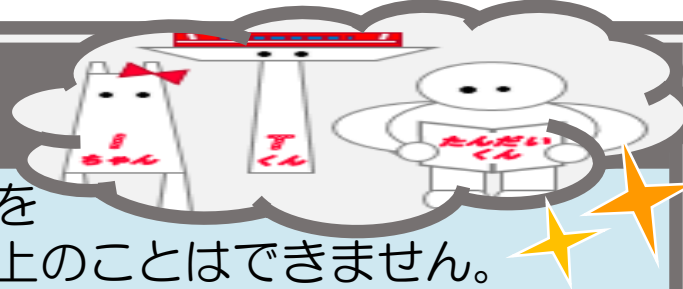
(通算91号)

IBARAKI Prefectural Junior College of Industrial Technology

IT短大VIEW!



1 地域を歩き高める防災



防災・減災を実現するためには、災害時を想定した訓練が必要です。災害時は訓練以上のことはできません。

本校では、11月2日(木)、大洗沖を震源とする最大震度7の直下型地震発生を想定した避難訓練を実施しました。

10時35分に地震が発生し、頭を守るなど初動行動を確認し、揺れが収まった後、全学生がキャンパススクエアに集合しました。

10時50分、担当の村松先生の指導の下、高台となる「大串貝塚ふれあい公園」まで約4kmを徒歩で避難しました。学生は、避難経路の確認や避難中の注意事項を確認するなど防災意識を高めていました。

11時40分には、全学生の避難が完了しました。命を守るためには、消防・警察・自衛隊による「公助」だけでなく、「自助」や「共助」が欠かせません。学生の防災意識を高める契機となりました。



↑ キャンパススクエアに集まった学生

【1年 鈴木真帆(土浦三高卒)さん】

校外への避難訓練は初めてで不安でしたが、実際に歩いてみると、避難経路をしっかりと覚え高台の公園にたどり着くことが出来ました。実際に災害が起きたら、食料の問題や衛生面の問題も発生してくると思います。その時のために、今から備えが必要だと感じました。



↑ 徒歩で非難する学生



↑ 「水戸市津波ハザードマップ」から

2 自分の意見を世の中に!

若者の投票率が低く、若者の政治離れが危惧されています。本校では県総務部市町村課(総務・選挙担当)のご協力を得て、11月2日(木)に選挙講話を実施しました。学生たちは、講師の説明に真剣に耳を傾けていました。



【1年 小針向葵(日立商高卒)さん】

この講座で、自分の意見を持ち選挙に参加することの大切さを学びました。初めて参議院選挙(2022年)に参加したときは、母親に連れられ、何となくで投票しましたが、自分の意見が世の中に反映される重要さを知り、自発的な行動ができるように情報収集を行い、自分が良いと思った立候補者に投票したいと思いました。

選挙について正しい情報を学ぶことが少なく、また、選挙に行く度に不安がありました。今回の説明を聞いて不安が減ったと感じました。

3 記事トレ!

本校では、IT専門力に加え、社会人基礎力の向上のために、「記事トレ」を実施しています。新聞を読んで考える事で、読み解く力を育成します。

<記事> 茨城新聞(2023年10月14日)

社会の流れ俯瞰

元サッカー日本代表 宮本恒靖

◇要約

●小野瀬あゆさん(那珂高卒)
自分の国を外から眺める経験から情報をいろんな角度から見られるほうが良いと思うようになった。ビジネスパーソンに会うような立場となり、社会の流れや企業の業績など俯瞰的な情報を持つことが重要だと感じる。

◇感想

●飯島喬仁さん(勝田工高卒)
新聞はテレビでは報道されていない情報が載っているの、たくさんの情報を得るのに優れていると思う。しかし、載っている情報を鵜呑みにすることなく、何が正しいのかを俯瞰してみることも大切だと思った。

●飯村寧音さん(水城高卒)
普段はスマホを使ってニュースを読む機会が多いが、新聞のほうが興味のある分野以外にも触れることが出来ると思う。就職活動でも会話のきっかけになると感じられた。必要な情報を集めることも重要だと思う。

●藤巻日々花さん(佐和高卒)
私は、いつもスマホから情報を得ているので、興味のある情報しか見ていませんでした。

しかし、新聞は、パッと見出しを見るだけで内容が分かるので、物事を俯瞰して見る事が出来て良いと思いました。

●皆川航太さん(水城高卒)
私は新聞に触れる機会が多くなかったが、就職をするうえで、社会の流れについて俯瞰的な情報を持つことが大切だと思う。何故ならば、企業の人達と関わる際に様々な情報を得ておけば、しっかりと話すことが出来るからだ。新聞やニュースを見る機会を増やそうと思った。



茨城県立産業技術短期大学校

URL <http://www.ibaraki-it.ac.jp/> E-mail: kyoumu@ibaraki-it.ac.jp

〒311-1131
茨城県水戸市下大野町6342
電話029-269-5500

